

令和8年度 学校評価・自己評価表

教育目標 経営目標	【学校教育目標】 夢と目標をもち、主体的に取り組む児童の育成 【学校経営目標】 子どもの姿で教育を語る学校	めざす児童像	●「と」ともだちを大切にする子（協働する） ●「よ」とく考える子（学んだことを生活に生かす） ●「ま」まえむぎに取り組む子（自信をもって行動する） ●「つ」つよく元気な子（粘り強く取り組む）
--------------	--	--------	--

評価計画					自己評価					学校関係者評価		
中期経営目標	短期経営目標	目標達成の方策 (具体的な取組内容)	評価項目・指標	目標値	時期	達成値	評価	達成状況	改善方策	評価		
										イ	ロ	ハ
確かな学力 見通しをもって、主体的に学ぶ児童を育てる。	児童が見通しをもって自らの課題解決するために、授業をコーディネートする。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって学習する授業をつくる。 (学び、環境、時間、教材のコーディネート) (場を作る) 振り返りを充実させる。 (書く) 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して主体的に学んだ(行動した)場面を1人3個以上 (児童評価、教師評価) 「主体的に問題解決した」児童の割合80%以上 (児童評価、教師評価) 		中間9月							
					最終2月							
	基礎基本の定着を図る。 (練習時間の確保、伸びっ子学習)	<ul style="list-style-type: none"> 国語科、算数科単元末テストの個人期待正答率以上の児童の割合90%以上 全国学力・学習状況調査で国語科、算数科正答率80%以上及び標準学力調査国語科、算数科正答率90%以上または前年度以上の児童の割合を80%以上 		中間9月								
					最終2月							
豊かな心と健やかな体 健康な心と体をつくるとともに、お互いを認め合い協働する児童を育てる	自分や友達の良いところを見つける機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりが活躍できる場と自他の良いところを見つける活動(スマイルアッププロジェクト)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分や友達の良いところを見つけることができた」児童の割合80%以上 		中間9月							
					最終2月							
	立腰姿勢の定着をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 全学年統一の立腰姿勢のかけ声を決め、姿勢について毎授業時や朝会等の初めに意識づけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「立腰姿勢をすることができた」児童・教師の割合80%以上 		中間9月							
					最終2月							
信頼される学校 保護者・地域に開かれた信頼される学校を創る。	学校と家庭・地域とのつながりを深める。	<ul style="list-style-type: none"> 各教科や学校行事で地域の人材を活用したり、授業を参観していただいたりする。 行事の様子を積極的にホームページにアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「豊松小学校は地域や保護者と連携・協力して、授業や行事などの教育活動を推進していると思いますか」のアンケート調査で保護者、学校運営協議会委員、地域の方の割合90%以上 		中間9月							
					最終2月							
	職員の働き方改革を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 子供と向き合う時間の確保するため、超過勤務の縮減に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務が45時間以内(月平均)となっている職員の割合を70%以上 		中間9月							
					最終2月							

【自己評価 評価基準】 A: 100% ≤ (目標達成) B: 80% ≤ (ほぼ達成) < 100% C: 60% ≤ (もう少し) < 80% できていない < 60%

【学校関係者評価】 イ: 自己評価は適正である ロ: 自己評価は適正でない ハ: 分からない